

「IT-MatexⅢ」導入後、 出荷トラブルの抜本的な改善が実現

「IT-MatexⅢ」導入事例
株式会社 コバユ一様



ねじ1個からの注文
にも素早くお応えす
るために、
「IT-MatexⅢ」が
現場を支えています

※右側/管理部 商品管理1課 課長 箕輪 孝二様
※左側/管理部 商品管理2課 課長 木村 信浩様



「IT-MatexⅢ」 導入のメリット

- 入庫～出荷データの照合で出荷トラブルがなくなる
- バーコードを読み込むことで、すぐに商品を探すことが可能
- 常に在庫が把握でき、棚卸しにかかる時間も短縮

時間が短縮され、効率アップに繋がりました。

また、「すでに運用していた当社独自の基幹システムとの相性やTERAOKAのカウンティングスケール『DC-350』が、『IT-MatexⅢ』と連動できることが、導入を決めた理由のひとつです」と、管理部 商品管理1課 課長 箕輪孝二様が続けます。

導入から約9ヶ月（取材時）、入荷から出荷までの作業、在庫管理が常に把握できることで、出荷トラブルの抜本的な改善が実現。作業時間が短縮され、効率アップに繋がりました。

「現品相違や員数不足などの出荷トラブルに対してさまざまな対策を講じてきたものの改善されず、抜本的な見直しが必要であると、バーコードによる管理システムの検討を始めました。メーカー決定に約1年、それから他社の実例の見学・調査に半年程。さらに『IT-MatexⅢ』の導入が決まり、当社独自のシステム開発に1年程かかりました」と当時の振り返る、管理部 商品管理2課 課長 木村信浩様。

**出荷トラブルがなくなり
作業時間の短縮と効率アップに貢献**

株式会社コバユ一様が出入庫管理システム導入の検討を始めたのは、4～5年前のことでした。

出荷検品・出庫

大量数出荷の場合



ラベルプリンターは、GP-4100αとGP-4100Sを導入



専用カートに搭載しているカウンティングスケールで計量。員数不足を予防する対策プログラムを設定

多品種少数出荷の場合



専用カートでピッキングを行い、発注数が少ないものは小袋に。注文書のバーコードを読み込んだ時点でデータが売上に計上される

入庫～ピッキングまでの作業を見学させていただきました

出入庫管理システム「IT-MatexⅢ」には、モバイルハンディー19台とカウンティングスケール13台、ラベルプリンター6台などが無線LANで接続されています。

入出庫

棚入れ



ズラリと並んだ棚にはそれぞれ記号・番号がふられており、棚入れ時には記号・番号(棚番)と商品のバーコードを照合

入庫・検品



ノギスで採寸して検品した後、モバイルハンディーで情報を確認。ラベルを発行して添付した後、各棚ごとに決められた台車に乗せる

